

対馬保健所管内における感染症情報

令和7年 第33週（8月11日 ～ 8月17日）

1. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり（人）		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (32週)	今週 (33週)		対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	
	(季節性)インフルエンザ	0.67	0.67	2	1	1	0	20歳代:1名 30歳代:1名
↑	新型コロナウイルス感染症	7.67	12.67	38	26	12	0	10歳未満:3名 10歳代:3名 20歳代:3名 30歳代:4名 40歳代:8名 50歳代:5名 60歳代:3名 70歳代:8名 80歳以上:1名
	RSウイルス感染症	-	-	0	0	0		
	咽頭結膜熱	-	-	0	0	0		
↓	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.50	2.00	4	0	4		4歳:2名 6歳:1名 9歳:1名
	感染性胃腸炎	-	-	0	0	0		
	水痘	-	-	0	0	0		
↓	手足口病	1.00	-	0	0	0		
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	-	0	0	0		
↑	ヘルパンギーナ	1.50	2.00	4	2	2		6-11か月:1名 2歳:1名 3歳:1名 10歳代:1名
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	無菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
↑	マイコプラズマ肺炎	-	1.00	1	*基幹定点			
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-	*基幹定点			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	*基幹定点			
↑	急性呼吸器感染症（ARI）	28	29	87	ARI 定点			

2. 全数把握対象疾患

発生無し

3. トピックス、季節情報

◆ 新型コロナウイルス感染症の報告数が増えています！

- ・対馬市は、第33週の定点当たりの報告数が県内で最も多い状況です。
- ・更なる感染の拡大や医療提供体制のひっ迫を招かないよう、感染対策を心がけましょう。
- また、発熱したときに慌てないように水分や解熱剤の準備をしておきましょう。



◆ 長崎県内で伝染性紅斑の流行警報が発表されています。

- ・伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発疹性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」ともいわれます。
- ・感染経路は、飛沫感染と接触感染です。
- ・約10～20日の潜伏期間の後、両頬に境界鮮明な紅い発しんが現れ、体や手・足に網目状の発しんが広がります。
- ・多くの場合、頬に発しんが出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します
- ・妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるため、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、注意が必要です。